

ジャパンクラシックBP大会

レポート

2016年11月26-27日

報告・写真：IPF国際審判

Team Ponze代表

TPA技術委員会委員長

物江 毅

本年度のジャパンクラシックBP大会は、11月26・27日の両日、東京都品川区総合区民会館(きゅりあん)小ホールで開催された。当初全日本BP大会開催をJPAから指名され、二年以上前から会場確保などの準備を進めてきたが、2017年のIPFの世界クラシックBP大会が、米国キリーンで4月開催と時期変更がなされたため、急遽3月の浜松大会で開催予定であった当該大会を東京で、全日本BP大会を浜松で行う運びとなった。

11月26日

女子の部

47kg級

一般の部の優勝は、本年5月の世界クラシックBP南アフリカ大会で、世界王者となった小林ナオコ選手(湘南ベンチプレッサーズ)。貫録の三試技成功で第二試技93kg、第三試技94kgと立て続けに日本記録を更新・樹立した。ナオコさんはボディビルにも取り組んでおり、世界大会以降減量に入り当日43.86kgという検量値であった。F.Pは何と132.64、当然女子のベストラフターに輝いた。試合終了後Facebookのメッセージで「昨日、自分の試技の時物江さんの声がハッキリと聞こえて、挙げるタイミングが取れてとても良かったです。ありがとう



大会準備に全力で臨んだ小森東京都協合理事長



ございます。」とコメントを下さった。嬉しい限りである！

一般の部二位は大平亜希選手(パワーハルクジム)で「本調子ではありませんが頑張ります！」と試合前日語っておられた。第一試技 55kgのみの成功であったが、頑張られたと思う。

M1 で優勝した餘語てるみ選手(マッスルプロダクション)は世界マスター BP(以下 WMBP とする)大会二連勝中であるが、安定した美しい BP は健在で 65-70-72.5 と三試技とも成功、私は観客席から「よし、綺麗だ！」と思わず声掛けをしていた。

M2 ではやはり本年デンマーク・ロドビーの WMBP に出場の柴田昌美選手(ストロングライン)が 52.5kg で優勝、M3 では大ベテランの三種リフター菊入広子選手(パワーハウス)が 52.5kg で優勝した。

52kg級

一般と M2 の優勝はダブルエントリー・上記小林ナオコさんのチームメイト木場恵美子選手が 77.5kg で優勝。二位は日本女子 PL 界が誇るベテランリフター寺村美香選手(江別 PL 協会)で 65kg。三位には江戸川のドン・田中勉さんがセコンドについた井田聖子選手(江戸川 GP 会)が 57.5kg で入り、私の TXP のジムメイト糸井千都香選手が 52.5kg で四位、東京都登録の新団体・スパインハウス白土香選手が 37.5kg で五位という結果であった。

M1 ではグッドコンディション所属の西村政子選手が 65kg で、M3 では石橋愛子選手(ストロングライン)が 57.5kg でそれぞれ優勝した。

57kg級

一般の部で池田未里選手が 102.5kg の日本新記録で優勝、今大会女子最高重量&唯一の 100kg 超えで、F.P も小林ナオコさんに次ぐ 120.57 という高さであった。婚約者の福島勇輝選手がセコンドについていたので、MC であった私はその旨紹介した。来年 3 月にはゴールインとお聞きした。BP チャンプ同士の素晴らしいカップル誕生である(*^_^*)

M1 の部優勝は国際大会定連の伊藤千帆選手(K's GYM)で 82.5 kg、M2 では WMBP 常勝の世界の酒巻知子選手が 65kg、M3 でも WMBP 王者長尾優子選手が 57.5kg で優勝。M4 では今大会女子最年長・伊川玲子選手(越谷市民プール)が 55kg の日本新記録で優勝、SJR では伊川さんより 61 歳下の木村彩音選手(常総学院高校)が 53kg の日



女子ベストリフターは、小林選手

本記録を樹立して優勝した。

63kg・72kg・84kg・+84kg級

63kg級一般では桃太郎軍団の田島瞳選手が77.5kgで優勝、どうも減量の影響で思ったようなBPが出来なかったようであるが、来年3月に出身地の浜松で開催される全日本BP大会での健闘を期待したい。試合後私は瞳さん手製のクッキーをいただいたが、とても美味しかった。この階級M1では篠原千絵選手(ストロングライン)が60kgで優勝した。

72kg級では、3年ぶりの全日本大会復帰となった日本ノーギアBP界のヒロイン・徳武恵美選手(TXP)が復活、97.5kgで優勝した。是非とも世界クラシックBP大会にご出場いただきたい。

このクラスM3にはWMBP大会15連覇中の澤千代美選手が85kgの日本記録に成功、ノーギアでも強いところを見せつけた! M1では一般とダブルエントリーの櫻井美幸選手(BIG GUNS)が72.5kgで優勝(一般二位)、M2では高垣慶子選手(グッドコンディション)が52.5kgで優勝、一般の部三位は金子睦選手(TXP)で67.5kgという結果であった。

84kg級、+84kg級は夫々一人のエントリーで、東前めぐみ選手(K's GYM)が72.5kg、WMBP大会定連の小松麻実選手が70kgで優勝した。

男子の部 53kg・59kg級

53kg級はJRの中野幹也選手一人のエントリーで、95kgの記録で優勝。

59kg級は、絶対王者の東坂康司選手に同級フルギア世界チャンプK's GYM同門の木村育史選手がどこまで迫るか、また、湘南ベンチプレッサーズ高田総帥、自宅フジタジムで調整し、9月のさいたま市BP大会では150kgに成功した藤田雄次選手(ストロングライン)・K's GYM元世界チャンプ中田和夫選手、埼玉の新鋭山岸広明選手や高知元気クラブの吉澤英太郎選手らがどう順位に絡んでくるか、又リオパラリンピックで見事に五位入賞した三浦浩さんはどの様なF・Pを記録するかという観点でMC席から拝見した。

試合が始まると高田さんの申請重量が異常に低い。155kgのベスト記録を持つ高田さんの第一試技は120kg、同重量をやや重そうに成功させたが、第二、第三試技の125,127.5kgは押せなかった。試合後伺ったところやはり故障しておられたとの事、無理をせずゆっくり治していただきたい。

第一試技、中田さん140に成功、藤田さんはやや硬さが見られ145kgに失敗、木村さん・東阪さんは150,157.5を順調に成功。第二試技で藤田さんは落ち着きを取り戻し145kgに成功、暫定三位とした。木村さん、東阪さんもそれぞれ152.5,162.5kgに成功、第二試技終了時点で東坂さんの連覇はほぼ確定という感じであった。第三試技では、K's GYMの表彰台独占を狙って、中田さんが145kgに挑むも失敗。三位以上が決定した藤田さんは体重差二位を狙う152.5kgの選択もあったが、全日本大会での150kg取りに目標を変え同重量に挑むも失敗、しかしながらK's GYMの現役・元世界チャンプ3人に対して果敢に挑んだ姿はとても清々しかった。試合後『K's GYMの一角を崩した』というMCをしていただき有難うございました!』と感謝された。また、藤田さんご自分の試技終了後、同じ埼玉県各選手のセコンドも一生懸命に勤めておられた。結局このクラスの順位は優勝東坂さん、二位木村さん、三位藤田さん、四位山岸さん142.5kg、五位中田さん、六位吉澤さん137.5kgという結果であった。



クラシックベンチ審判団、ご苦労様でした。

三浦さんは120-125を綺麗に決めF・Pは137.36の高ポイントで男子ベストラフターの三位に食い込んだ。何という素晴らしい事であろうか!

このクラスJRの優勝は127.5kgで今泉諒也選手、M2は三浦さん、M3は白川猛士さん110-120-122.5と三試技とも成功、M4大城新順さんが90kgでそれぞれ優勝した。

66kg級

このクラスの見どころは前大会王者斉藤敬太選手(BURST LIMIT)に170kg以上のベスト記録を持つJR

チャンプ本堂正達選手(リアルスタイル)がどう挑むか、また、いつも堅実な試技を見せる全日本BP大会優勝経験者(それも児玉選手を破って)・ストロングラインオーナー福田将志選手がどう絡むか、また、ひそかにダークホースと私が目していた我がTeam Ponzeの兼上頼正選手がどこまで挙げてくれるかと思いつつMC業務にあたった。

試合が始まると、第一試技兼上さん 155kg、福田さん 157.5kg、本堂さん 160.5kg (JR新)、斉藤さん 162.5kgに成功、まずは静かな滑り出しであった。

第二試技では、兼上さん 160kg、福田さん 165kgに成功、斉藤さんは 170kgを押せず、一気に勝負を決着させようとしたのか本堂さんが 175.5kgに挑むも失敗。第二試技終了時点の暫定順位は一位福田さん、以下斉藤さん、本堂さん、兼上さんとなっていた。

第三試技では兼上さん 165kgに挑む。挙げれば体重差暫定トップに立つ。10年近く前全盛時の兼上さんはノーブリッジで 175kg程度を軽く成功させていた。多忙による練習不足でここ数年記録が 160kg台に落ちていたが、今回は復調して練習で 175kgも挙げていると聞いていた。試技が始まった。「スタート!」「プレス!」165kgは 10cm程浮き、そこで止まった……。斉藤さんは再び 170kgに挑むも押し切れず 3位以上が決定。本堂さんは第二試技同様 175.5kgに挑むも失敗。福田さんは色々な駆け引きで 177.5kgを申請していたが優勝確定したため同重量をパスした。ジャパクラシックBP大会と全日本BP大会の二つに勝っているのは、児玉大紀さん、福島勇輝さんの二人のみ、福田さんは見事に三人目になられた。

このクラスSJR優勝は森木翼選手(マッスルポロダクション)125.5(日本新)、JR優勝は本堂さん、M1は亀谷充男選手 157.5kg、M2は湘南ベンチプレッサーズ・外山尚人選手 137.5kg、M3はWMBP大会定連の佐藤恵二さん 127.5kg、そしてM4を制したのは江戸川のドン・田中勉選手、122.5-127.5-130(日本新)と三試技とも成功、70歳になってもまだまだ強い田中さん、是非とも世界クラシックBP大会にご出場いただきたい!!

11月27日

74kg級

今回のJCBP大会の一週間前、米国フロリダ州オーランドで開催された世界PL大会&IPF総会でベンチプ



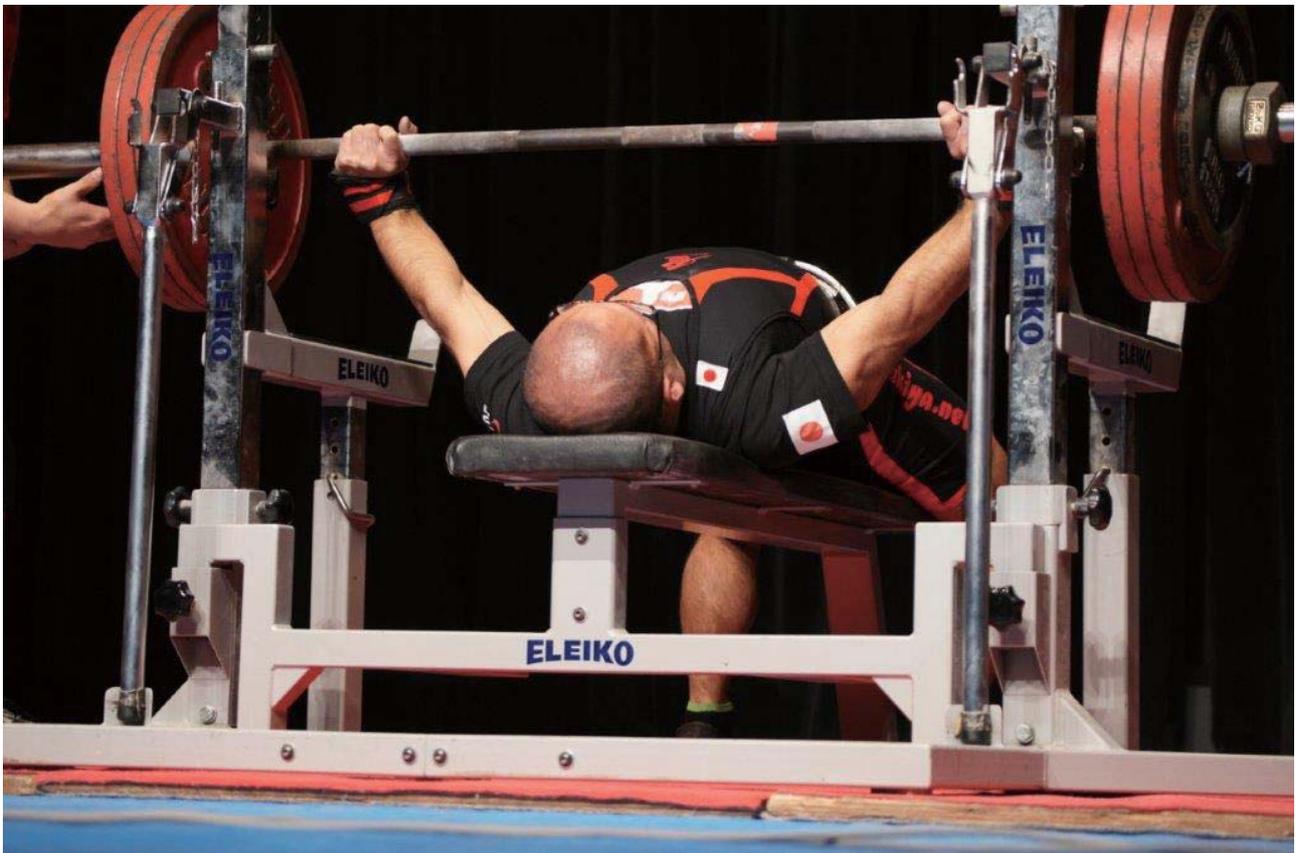
男子59kg級、表彰式

レッサーとしては初めて I I P F 殿堂入りの快挙に輝いた Mr. B P 児玉大紀選手と本年から J P A 国際委員として P L 界に貢献しているカリスマベンチプレッサー鈴木佑輔選手が登場する注目のセッション、 J P A の山口専務理事が M C を務め、両雄は対決した。

結果的にはお二人とも故障を抱え、本調子には程遠く、昨年の近畿 B P 大会の様に両雄とも 210kg に挑むという熱戦とはならず、児玉さんが 195kg で優勝 (ベストリフター & 文部科学大臣杯も獲得)、鈴木さんが 185kg で二位という結果となった。両雄にはともにベストコンディションでの再戦を是非とも期待したい!

三位には J C B P の前身のジャパンオープン B P 大会当時から、当該大会に参戦し、好成績を残している酒井ジュンヤ選手が 167.5kg で入った。

このクラス SJR では西村将汰選手 (都立三田高校) が 130kg で優勝、JR は鈴木佑輔さんから指導を受けている石井尚紀選手 (B.A.D) が 157.5kg で制し、M1 では湘南ベンチプレッサーズのまいうーベンチプレッサー・藤川慎吾選手が 160kg で優勝、M2 では久しぶりの全日本大会に一般とダブルエントリー復帰した古川公一選手 (K's GYM) が 150kg、M3 では林靖弘選手 (マッスルプロダクション石川) が 140kg、M4 では朝井章生選手 (サンプルフィットネスセンター) が 130kg で夫々制した。大会後林さんが石川に帰郷後、亡くなられた奥さんの墓前に「約束した日本一になったよ」と報告したと Facebook に投稿していた。少し長くなるが以下に紹介させていただく。「妻の墓前に優勝報告をしてきました。お墓の掃除をしながら、自分をもっと先に金メダルを取っていた事に気がつきました。妻が自分の人生の金メダルだった事



74kg 級対決、鈴木選手 (上) と児玉選手 (下)

に。素晴らしい人生を過ごしているのも、全て妻のおかげです」 何という素晴らしい夫婦愛であろう！ 本年のデンマーク・ロドビー開催でされたの WMBP に同じクラスに出場した私としては涙腺が緩むのを抑えきれなかった。

83kg級

エントリーリストから全大会王者の信田泰宏選手が頭一つ抜けており、それを北海道の強豪の中島聡選手 (筋肉道場馬鹿力)、久しぶりの全日本大会復帰となるマッスルプロダクションオーナーふじたひろゆき選手、パワー界の人気者・松永浩二選手、東京の新星・福田隆允選手 (TXP)、K's GYM 林克也選手がどんな試技を見せるかが注目されたセッションであった。

試合が始まると信田選手は第一、第二試技で 180-187.5 を順調にとり、ほぼ一人旅状態。松永選手は急激な減量の影響か第一試技 160kg と絶対に失敗しない重量選択し成功 (でもあまり軽くは押せなかった印象だ)。ふじたさんも軽めに 165kg から入り成功、中島さんと福田さんは 170kg を順調に成功。

第二試技ふじたさんがグリップの位置ズレからリプレイスがかかった 170kg を頑張って押し切り、林さんも同重量成功、中島さんは 172.5kg に成功したが、松永君は 175kg を押し切れず、福田選手も 177.5kg を惜しくも失敗した。二位以下の混戦を傍目に、M1 に参戦した中谷章選手 (パワーボム! ジム) は 170-175 に順調に成功、M1 の優勝を決めた。

第三試技は上位 5 名が全員失敗で、優勝信田選手、二位中島選手、三位藤田選手、四位福田選手、五位林選手、そして六位には中島選手と同門の吉本将人選手が 167.5kg で入った。松永君は 86kg 程度あった体重を 81.04kg まで減量し試合に臨んだが、普段の力が全く発揮出来なかった。完全な作戦失敗であったが、試合後 93kg 級と最終 120・+120kg 級の MC に入り会場を大いに盛り上げてくれた。この二年間、常に故障を抱えての試合であったという事でしばらく競技 BP から離れると語っていた。休養し一回り大きくなった松永君を披露していただきたい。

93kg級

このクラスは 9 月下旬の関東 B P 大会で、ノーギア 200kg & フルギア 300kg ベンチプレッサーとなった長谷川直輝選手 (K's GYM 横浜) と愛知の強豪・高取征爾選手 (ゴールドジム名古屋金山) とのガチンコ対決となった。

このお二人 3 月の高知でも好勝負を繰り広げておられたが、今回検量体重が 92.52kg で全くの同体重、ロット No は高取さんの方が後であった。高取さん 197.5-202.5、長谷川さん 202.5-205 と第二試技までお互い順調に成功、第三試技の申請は共に 207.5kg であった。長谷川さんが同重量に成功すると、高取さんすかさず 210kg に重量変更して挑んだが、惜しくも押し切れず長谷川さんの連覇となった。高取さんは M1 優勝。

このクラスの 3 ~ 5 位はいずれも 190kg 台の力量を持つ選手であったが、三位の武田宗久選手が 185kg、四位須永裕介選手が 182.5kg、五位風張透選手が同重量体重差、六位には若手の和田駿選手が 177.5kg で入った。

M1 の二位は渡邊勝也選手 175kg、同級三位は体重差同重量で松沼光紀選



マスターズ部門も年々強くなる。



結婚が決まった福島選手と祝福する児玉選手

手(いずれも TXP) という結果であったが、松沼さんは TXP に移籍してから出場した公式戦試技がすべて成功、いずれも白3という事で、仲間内から「Mr. パーフェクト!」と呼ばれていた。

M2 の優勝は中澤禎郁選手 (K's GYM)175kg、M3 は 5 年ぶりの全日本大会出場のベテラン・安楽友宏選手が 152.5 kgで制した。

M4 の優勝者は我が Team Ponze の立野正勝選手 120kgの日本新記録であった。立野さんはもう 20 年来、私も 33 年間通っている江東区スポーツ会館で BP トレをしているが、今春の都大会でデビュー (83kg 級 M4 東京記録樹立)、7 月の世田谷 BP 大会 (93kg 級 M4 東京記録樹立)、今回の JCBP 大会が公式戦 3 回目の出場であった。風邪気味で万全な体調ではなかったが、日本記録に挑んだ第三試技バーベルを 2/3 ほど押ししたところでほぼ止まりそうになった際、我々セコンドやその周りにいた出場選手などが、絶叫とも思われる声援を送り、それが効いたのか最後まで押し切り白3の判定となった。立野さんには是非とも国際大会にご出場いただきたい!

105kg級

現在 JCBP 三連覇中、今大会の選手宣誓を行った武田裕介選手は、毎大会で自分がヘッドストレングスコーチを務める TXP 所属の複数選手セコンドでご自分の試技前に消耗してしまい、連覇中ではあったが記録的に物足りないという個人的に私は思っていた。今大会前、肩の故障を騙しながら調整する姿をジムで拝見していた。

試合が始まると武田さんは 202.5-212.5 と順調に成功。ほぼ優勝を決定したかに思えた。第三試技、ここ数年故障で低迷していた K's GYM のベテラン・伊藤智選手が 190-205 成功後、215kgに挑んで見せ場を作ってくれた。惜しくも失敗であったが、伊藤さんの復活は嬉しい限りである (M2 優勝)。優勝を決めた武田選手は 220kg の自己新を見事に押し切り、JCBP 四連覇を飾った。三位、四位はノーギア PL の強豪・埼玉の浜田誠司選手 (M1 優勝)、現在日本最強の阿久津貴史選手が 185kgの同記録体重差で入った。五位はプロレスラーの三宅綾選手 170kg、六位は同記録体重差で小野和久選手であった。

このクラス JR は坂本寛明選手 (TXP)170kg、M3 は高橋勉選手 (ゴールドジム名古屋金山) で 145kg、M4 では長島義孝選手が 125kgの日本新記録で制した。

120kg・+120kg級

最重量のこの二クラス 12 名のエントリーがあり、両クラスとも熱戦が展開された。

120kgでは神奈川県警の高山洋之選手と埼玉の M2 の強豪・湯浅正信選手が対決、高山さん 210-217.5 に成功、一方の湯浅さんは第一試技 215kgに成功後、M1・2 の日本記録となる 220.5kgに挑んだ。湯浅さんが第二試技で失敗すると高山さんは第三試技で 220kgに挑戦、惜しくも失敗であったが確実に力が伸びている。湯浅さん第三試技



で 220.5 kg に再挑戦するも惜しくも途中で止まり、高山さん優勝、湯浅さん二位 (M2 優勝) という結果となった。三位にはこの一年間で数 10kg 自己記録を伸ばした焼き鳥どん・日垣宏章選手 (ノーリミッツ) が 200kg で入った。

120 kg 超級も大熱戦であった。前回の高知大会で彗星のように現れ優勝、5 月の世界クラシック BP 大会も制した石井孝敏選手に、全日本大会初出場・埼玉の強豪永田聡選手が

重量級対決が面白い。



挑んだ。

永田さん 210-225、石井さん 212.5-227.5(日本新)とともに二試技成功、第三試技で永田さんは 230kg、石井さんは 230.5kgに挑んだ。場内はヘビー級選手が挑む高重量の迫力に大変な盛り上がりとなった。永田さんが 230kg惜しくも押し切れず、勝負が決した後石井さんは 230.5kgを見事押し切り優勝に花を添えた。

団体戦クラブ対抗は

女子 優勝 湘南ベンチプレスーズ 32 点
2 位 スパインハウス (大健闘) 28 点
3 位 ストロングライン 27 点
4 位 T X P 27 点 (3, 4 位は一位の数の差)

男子 優勝 K's GYM 51 点
2 位 TXP 45 点
3 位 K's GYM 横浜 43 点
4 位 湘南ベンチプレスーズ 42 点
5 位 神奈川県警 PL 部 38 点
6 位 ストロングライン 38 点
(5, 6 位は一位の数の差)

都道府県対抗

優勝 神奈川県 57 点
2 位 東京都 54 点
3 位 大阪府 54 点
(2, 3 位は一位の数の差)
4 位 埼玉県 51 点
5 位 兵庫県 45 点
6 位 千葉県 43 点

という結果であった。



今大会は、元々フルギアの全日本 B P 大会開催予定であり、参加人数が 200 人強程度と予測されたので、2004 年に全日本 B P 大会を開催したきゅりあんが規模的に最適と T P A 理事会で二年前に決定したのだが、開催の半年前にノーギアの J C B P 大会に変更されたため、参加人数に 260 人 (但し前回上位 3 名入賞者はシード扱いとし) に制限したことに對して多くの方からご批判を受けた。東京協会役員として経過説明させていただくと、J P A からの大会開催変更要請は、理由が、「世界クラシックベンチが来年度は 4 月にあるので、クラシックベンチと全日本ベンチの日程を逆にしないと、日本からクラシックベンチに代表選手が送れない事」であった。

「全日本」の意義と言うのは、なんだろうか。

- 1、 当該年度の各クラス日本選手権覇者争い。これに伴う、当競技の普及振興。
- 2、 世界選手権日本代表選手の決定。

だと東京協会では考えた。

東京協会としても急遽の変更は、諸々、大変ではあるが、予定通りの開催では、世界選手権に選手を送れないのでは、3 月開催のクラシックベンチ開催意義が半減するので、東京協会では、J P A の要請に對して真摯に向き合う事になった。

ただ、東京での試合会場確保事情は、半年前では、三多摩地区を含めて容易ではないため、きゅりあん以外に会場は考えられなかった。そこで、きゅりあんでの二面開催の可能性、また、同じきゅりあんでも大ホールを借りることはできないか、など、東京協会役員が奔走したが、他会場はどこも取れず、二面開催は面積的に不可、大ホールは先約で埋まっていること、などから、どういう方法で開催するか、JPAの役員の皆様ともご相談させていただきながら、「人数制限」という結論を出さざるを得なかった。「東京の役員は、選手の事を全然考えていない」と、ご批判もいただいた。ご理解いただくのは難しいかもしれないが、今回の「人数制限大会」は、上記のような事情で、実施せざるを得なかった。

いろいろな事があったJCBP大会であるが、大会自体は大盛会で終了した。

全国から大会のため集った選手の皆さん、審判員&役員の皆様本当に有難うございました！！



写真左；品川区在住の福浦東京都理事、大会開催に奔走いただいた。

写真右；小森理事長肝いりの、舞台での大会開催。

写真下；最後は全員集合で、来年の再会を誓い合う。



2016/11/27	第17回 ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会							クラシックベンチ Bench		
Name	Age	M F	BWt (Kg)	WtCls (Kg)	Best Bench	PL Total	Team	Open Div	Age Div	Misc Div
小林 ナオコ	1970	F	43.86	47	94	94.0	湘南ベンチプレスサーズ	F-47-O-1		
餘語 てるみ	1969	F	46.4	47	72.5	72.5	マッスルプロダクション		F-47-M1-1	
大平 亜希	1969	F	46.06	47	55	55.0	パワーハルクジム	F-47-O-2	F-47-M1-2	
菊入 広子	1949	F	46.4	47	52.5	52.5	パワーハウス		F-47-M3-1	
柴田 昌美	1965	F	46.7	47	52.5	52.5	ストロングライン		F-47-M2-1	
大澤 幸子	1956	F	45.78	47	47.5	47.5	個人		F-47-M3-2	
門明 麻美	1967	F	45.02	47	42.5	42.5	元気クラブ		F-47-M1-3	
木村 友果	1972	F	46.16	47	35	35.0	スパインハウス		F-47-M1-4	
木場 恵美子	1962	F	51.02	52	77.5	77.5	湘南ベンチプレスサーズ	F-52-O-1	F-52-M2-1	
西村 政子	1974	F	50.32	52	65	65.0	グッドコンディション		F-52-M1-1	
寺村 美香	1962	F	51.74	52	65	65.0	江別パワーリフティング協会	F-52-O-2	F-52-M2-2	
渡辺 礼美	1966	F	47.94	52	60	60.0	パワーハウス赤穂		F-52-M2-3	
石橋 愛子	1953	F	48.7	52	57.5	57.5	ストロングライン		F-52-M3-1	
井田 聖子	1980	F	49.9	52	57.5	57.5	江戸川グリーンパワー会	F-52-O-3		
糸井 千都香	1971	F	51.98	52	52.5	52.5	TXP	F-52-O-4		
石井 文子	1973	F	51.98	52	45	45.0	スパインハウス		F-52-M1-2	
白土 香	1971	F	50.8	52	37.5	37.5	スパインハウス	F-52-O-5		
池田 未里	1991	F	56.02	57	102.5	102.5	個人	F-57-O-1		
伊藤 千帆	1974	F	55.96	57	82.5	82.5	K'sGYM		F-57-M1-1	
種橋 久美	1971	F	55.88	57	70	70.0	湘南ベンチプレスサーズ		F-57-M1-2	
酒巻 知子	1965	F	54.84	57	65	65.0	ストロングライン		F-57-M2-1	
川田 由紀子	1968	F	55.96	57	65	65.0	個人	F-57-O-2	F-57-M1-3	
長尾 優子	1950	F	55.72	57	57.5	57.5	越谷市民プールTG		F-57-M3-1	
伊川 玲子	1939	F	56.28	57	55	55.0	越谷市民プールTG		F-57-M4-1	
長江 由美子	1974	F	56.46	57	55	55.0	個人		F-57-M1-4	
木村 彩音	2000	F	52.16	57	53	53.0	常総学院高校		F-57-T-1	
浅野 優子	1981	F	54.06	57	35	35.0	スパインハウス	F-57-O-3		
田島 瞳	1982	F	62.52	63	77.5	77.5	個人	F-63-O-1		
篠原 千絵	1970	F	61.22	63	60	60.0	個人		F-63-M1-1	
近江 利香	1971	F	61.86	63	60	60.0	個人	F-63-O-2		
徳武 恵美	1964	F	70.84	72	97.5	97.5	TXP	F-72-O-1		
澤 千代美	1949	F	70.84	72	85	85.0	パワーハウス		F-72-M3-1	
櫻井 美幸	1969	F	71.56	72	72.5	72.5	BIG GUNS	F-72-O-2	F-72-M1-1	

2016/11/27	第17回 ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会							クラシックベンチ Bench		
Name	Age	M F	BWt (Kg)	WtCls (Kg)	Best Bench	PL Total	Team	Open Div	Age Div	Misc Div
金子 睦	1986	F	68.54	72	67.5	67.5	TXP	F-72-O-3		
高垣 慶子	1962	F	63.96	72	52.5	52.5	グッドコンディション		F-72-M2-1	
東前 めぐみ	1983	F	82.5	84	72.5	72.5	K'sGYM	F-84-O-1		
小松 麻実	1969	F	103.36	UNL	70	70.0	有光自動車	F-UNL-O-1	F-UNL-M1-1	
中野 幹也	1994	M	52.62	53	95	95.0	個人		M-53-JR-1	
東坂 康司	1979	M	58.58	59	162.5	162.5	K'sGYM	M-59-O-1		
木村 育史	1975	M	58.7	59	152.5	152.5	K'sGYM	M-59-O-2	M-59-M1-1	
藤田 雄次	1984	M	58.44	59	145	145.0	ストロングライン	M-59-O-3		
山岸 広明	1985	M	58.54	59	142.5	142.5	個人	M-59-O-4		
中田 和夫	1967	M	58.16	59	140	140.0	K'sGYM	M-59-O-5	M-59-M1-2	
吉澤 英太郎	1974	M	58.74	59	137.5	137.5	元気クラブ	M-59-O-6	M-59-M1-3	
今泉 諒也	1995	M	58.64	59	127.5	127.5	個人		M-59-JR-1	
三浦 浩	1964	M	46.9	59	125	125.0	K'sGYM	M-59-O-7	M-59-M2-1	
吉田 好邦	1968	M	58.06	59	125	125.0	個人		M-59-M1-4	
那須野 武文	1973	M	58.2	59	125	125.0	個人		M-59-M1-5	
石川 達也	1986	M	58.7	59	125	125.0	King bull	M-59-O-8		
白川 猛士	1948	M	57.3	59	122.5	122.5	個人		M-59-M3-1	
石井 壘	1973	M	57.66	59	122.5	122.5	個人	M-59-O-9	M-59-M1-6	
吉野 公二	1969	M	58.52	59	122.5	122.5	個人		M-59-M1-7	
板垣 武志	1967	M	58.76	59	120	120.0	神奈川県警PL部		M-59-M1-8	
高田 勇二	1965	M	58.76	59	120	120.0	湘南ベンチプレスサーズ	M-59-O-10	M-59-M2-2	
溝尾 元洋	1980	M	58.18	59	117.5	117.5	個人	M-59-O-11		
天川 哲範	1977	M	58.32	59	117.5	117.5	ESQUATIR	M-59-O-12		M-59-RW-1
伊藤 達也	1994	M	58.58	59	115	115.0	BURST LIMIT		M-59-JR-2	
大野 隆	1964	M	58.28	59	112.5	112.5	昭和SC		M-59-M2-3	
内山 啓	1975	M	58.84	59	110	110.0	個人	M-59-O-13		
土橋 将人	1978	M	58.02	59	107.5	107.5	ベンチポリス	M-59-O-14		
椎木 智良	1964	M	58.32	59	107.5	107.5	ストロングライン		M-59-M2-4	
東 泰弘	1963	M	53.02	59	105	105.0	ゴールドジム浦安千葉		M-59-M2-5	
岩瀬 泰介	1988	M	58.06	59	100	100.0	帝京平成スポーツアカデミー	M-59-O-15		
佐野 博	1950	M	58	59	95	95.0	栄スポーツセンター		M-59-M3-2	
大城 新順	1943	M	55.98	59	90	90.0	個人		M-59-M4-1	
海和 秋廣	1974	M	58.56	59	90	90.0	個人		M-59-M1-9	

2016/11/27	第17回 ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会							クラシックベンチ Bench		
Name	Age	M F	BWt (Kg)	WtCls (Kg)	Best Bench	PL Total	Team	Open Div	Age Div	Misc Div
岸本 将司	1993	M	58.3	59	0	0.0	個人		M-59-JR--	
池田 尚也	1970	M	58.36	59	0	0.0	リアルスタイル		M-59-M1--	
福田 将志	1984	M	65.66	66	165	165.0	ストロングライン	M-66-O-1		
斉藤 敬太	1982	M	64.96	66	162.5	162.5	BURST LIMIT	M-66-O-2		
本堂 正達	1995	M	64.86	66	160.5	160.5	リアルスタイル	M-66-O-3	M-66-JR-1	
兼上 頼正	1972	M	64.78	66	160	160.0	Team Ponze	M-66-O-4		
亀谷 充男	1971	M	65.22	66	157.5	157.5	個人	M-66-O-5	M-66-M1-1	
石田 宣央	1980	M	64.92	66	152.5	152.5	パワーハウス	M-66-O-6		
木村 琢磨	1984	M	65.42	66	145	145.0	個人	M-66-O-7		
室田 陽一郎	1967	M	63.6	66	142.5	142.5	K'sGYM横浜	M-66-O-8	M-66-M1-2	
外山 尚人	1959	M	64.74	66	137.5	137.5	湘南ベンチプレスサーズ		M-66-M2-1	
池上 範雄	1963	M	65.38	66	132.5	132.5	HERCULES		M-66-M2-2	
田中 勉	1946	M	63.5	66	130	130.0	江戸川グリーンパワー会		M-66-M4-1	
浅井 嵩文	1987	M	65.24	66	130	130.0	個人	M-66-O-9		
東 博志	1963	M	64.06	66	127.5	127.5	個人		M-66-M2-3	
佐藤 恵二	1952	M	64.46	66	127.5	127.5	個人		M-66-M3-1	
森木 翼	1999	M	63.36	66	125.5	125.5	マッスルプロダクション		M-66-T-1	
長瀬 祐司	1964	M	64.58	66	125	125.0	個人		M-66-M2-4	
段安 忠信	1944	M	64.28	66	120	120.0	個人		M-66-M4-2	
鈴木 光	1959	M	64.56	66	120	120.0	ルネサス・日本赤十字社		M-66-M2-5	
上田 孝道	1993	M	65.16	66	120	120.0	個人		M-66-JR-2	
坂下 竜一	1999	M	65.3	66	120	120.0	個人		M-66-T-2	
倉光 貴史	1989	M	64.78	66	115	115.0	個人	M-66-O-10		
佃 忠和	1944	M	64.82	66	115	115.0	K'sGYM横浜		M-66-M4-3	
二宮 拓也	1988	M	65.66	66	115	115.0	元気クラブ	M-66-O-11		
矢野 光伸	1984	M	64.84	66	112.5	112.5	個人	M-66-O-12		
外山 和彦	1961	M	62.94	66	110	110.0	湘南ベンチプレスサーズ		M-66-M2-6	
井上 颯人	1995	M	63.72	66	110	110.0	帝京平成スポーツアカデミー		M-66-JR-3	
赤木 英治	1944	M	65.42	66	110	110.0	個人		M-66-M4-4	
岩崎 実	1940	M	64.68	66	102.5	102.5	平泉アスリート		M-66-M4-5	
和田 幸大	2000	M	64.56	66	100	100.0	ストロングライン		M-66-T-3	
小川 朋幸	1965	M	65.7	66	100	100.0	個人		M-66-M2-7	
小笠原 真一	1949	M	64.14	66	95	95.0	湘南ベンチプレスサーズ		M-66-M3-2	

2016/11/27		第17回 ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会						クラシックベンチ Bench		
Name	Age	M F	BWt (Kg)	WtCls (Kg)	Best Bench	PL Total	Team	Open Div	Age Div	Misc Div
小笠原 正雄	1961	M	62.9	66	90	90.0	元気クラブ		M-66-M2-8	
小山 義雄	1937	M	65.08	66	82.5	82.5	越谷市民プールTG		M-66-M4-6	
谷口 修一	1972	M	64.52	66	0	0.0	BBGYM	M-66-O--	M-66-M1--	
室野 康汰	1993	M	64.62	66	0	0.0	POWERMAN GYM		M-66-JR--	
前田 典義	1991	M	65.12	66	0	0.0	元気クラブ	M-66-O--		
児玉 大紀	1979	M	72.7	74	195	195.0	K'sGYM	M-74-O-1		
鈴木 佑輔	1984	M	73.2	74	185	185.0	B.A.D	M-74-O-2		
酒井 ジュンヤ	1970	M	72.24	74	167.5	167.5	BBGYM	M-74-O-3		
仲村 龍治	1981	M	73.48	74	167.5	167.5	個人	M-74-O-4		
染谷 成亮	1985	M	73.54	74	165	165.0	King bull	M-74-O-5		
藤川 慎吾	1967	M	72.44	74	160	160.0	湘南ベンチプレスサーズ		M-74-M1-1	
高橋 勇二	1983	M	72.64	74	160	160.0	帝京平成スポーツアカデミー	M-74-O-6		
石井 尚紀	1995	M	71.16	74	157.5	157.5	B.A.D		M-74-JR-1	
古川 公一	1966	M	70.48	74	150	150.0	K'sGYM	M-74-O-7	M-74-M2-1	
松山 聡	1072	M	73.42	74	150	150.0	個人	M-74-O-8		
鈴木 馨太	1996	M	69.6	74	145	145.0	TXP		M-74-JR-2	
大谷 重司	1957	M	73.24	74	145	145.0	パワーハウス	M-74-O-9	M-74-M2-2	
仲戸川 薫	1964	M	73.5	74	145	145.0	パワエリジム		M-74-M2-3	
小倉 健二	1966	M	73.6	74	145	145.0	パワエリジム		M-74-M2-4	
高橋 卓哉	1985	M	69.36	74	142.5	142.5	個人	M-74-O-10		
林 靖弘	1956	M	72.56	74	140	140.0	マッスルプロダクション石川		M-74-M3-1	
尾島 峻	1985	M	72.82	74	140	140.0	個人	M-74-O-11		
信原 英之	1952	M	72.88	74	140	140.0	エイブルスポーツ		M-74-M3-2	
平井 一雄	1957	M	72.02	74	137.5	137.5	湘南ベンチプレスサーズ		M-74-M2-5	
石川 清隆	1970	M	72.4	74	132.5	132.5	個人		M-74-M1-2	
柳田 雅彦	1994	M	70.9	74	130	130.0	湘南ベンチプレスサーズ		M-74-JR-3	
根岸 宏昭	1968	M	72.38	74	130	130.0	湘南ベンチプレスサーズ		M-74-M1-3	
佐伯 博文	1964	M	72.48	74	130	130.0	西部組		M-74-M2-6	
朝井 章生	1968	M	72.86	74	130	130.0	サンブレイフィットネスセンター		M-74-M1-4	
西村 将汰	1999	M	72.96	74	130	130.0	都立三田高校		M-74-T-1	
石崎 竜海	1997	M	73.1	74	127.5	127.5	個人		M-74-JR-4	
鈴木 和彦	1954	M	72.04	74	122.5	122.5	個人		M-74-M3-3	
谷澤 直紀	1995	M	73.1	74	122.5	122.5	TXP		M-74-JR-5	

2016/11/27	第17回 ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会							クラシックベンチ Bench		
Name	Age	M F	BWt (Kg)	WtCls (Kg)	Best Bench	PL Total	Team	Open Div	Age Div	Misc Div
石田 邦康	1970	M	70.66	74	120	120.0	セントラル虎の穴		M-74-M1-5	
大村 和久	1956	M	70.92	74	120	120.0	トヨタ自動車ボディビル部		M-74-M3-4	
宮竹 恒二	1975	M	71.84	74	120	120.0	ベンチポリス		M-74-M1-6	
碓 正一郎	1961	M	71.84	74	120	120.0	個人		M-74-M2-7	
下山 洋二	1950	M	72.3	74	120	120.0	緑区パワーリフティング協会		M-74-M3-5	
渡邊 和也	1993	M	73.18	74	117.5	117.5	ストロングライン		M-74-JR-6	
山本 茂樹	1943	M	70.16	74	115	115.0	越谷市民プールTG		M-74-M4-1	
金光 忠実	1975	M	72.76	74	112.5	112.5	個人		M-74-M1-7	
諸星 孝夫	1945	M	72.04	74	110	110.0	湘南ベンチプレスサーズ		M-74-M4-2	
市川 芳	1947	M	72.12	74	110	110.0	個人		M-74-M3-6	
関根 隆信	1955	M	72.48	74	105	105.0	ストロングライン		M-74-M3-7	
藤田 俊夫	1935	M	72.62	74	97.5	97.5	和歌山パワーリフティング協会		M-74-M4-3	
石田 耕作	1955	M	71.36	74	95	95.0	パワーハウス		M-74-M3-8	
三木 宣彦	1939	M	72.16	74	90	90.0	チームC&M		M-74-M4-4	
川畑 孝久	1950	M	72.84	74	80	80.0	パワーハウス		M-74-M3-9	
松本 健一郎	1975	M	72.94	74	0	0.0	個人	M-74-O--		
谷田 真	1962	M	73.04	74	0	0.0	ストロングライン	M-74-O--	M-74-M2--	
信田 泰宏	1988	M	82.88	83	187.5	187.5	個人	M-83-O-1		
中谷 章	1974	M	81.52	83	175	175.0	パワーボム！ジム		M-83-M1-1	
中島 聡	1985	M	82.5	83	172.5	172.5	筋肉道場馬鹿力	M-83-O-2		
ふじた ひろゆき	1977	M	81.42	83	170	170.0	マッスルプロダクション	M-83-O-3		
福田 隆允	1989	M	82.02	83	170	170.0	TXP	M-83-O-4		
林 克也	1987	M	82.8	83	170	170.0	K'sGYM	M-83-O-5		
吉本 将人	1989	M	80.44	83	167.5	167.5	筋肉道場馬鹿力	M-83-O-6		
松森 誠次	1963	M	82.44	83	167.5	167.5	フジモトジム		M-83-M2-1	
三輪 景吾	1981	M	82.46	83	167.5	167.5	東名アスレチック	M-83-O-7		
秋本 博則	1969	M	82	83	162.5	162.5	個人		M-83-M1-2	
土屋 仁	1964	M	80.34	83	160	160.0	ベンチポリス		M-83-M2-2	
鈴木 孝英	1981	M	80.74	83	160	160.0	個人	M-83-O-8		
松永 浩二	1983	M	81.04	83	160	160.0	個人	M-83-O-9		
根本 裕徳	1971	M	82.78	83	160	160.0	個人		M-83-M1-3	
小島 勝信	1966	M	82.02	83	157.5	157.5	個人		M-83-M2-3	
小口 浩毅	1974	M	81.34	83	155	155.0	ストロングライン	M-83-O-10	M-83-M1-4	

2016/11/27	第17回 ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会							クラシックベンチ Bench		
Name	Age	M F	BWt (Kg)	WtCls (Kg)	Best Bench	PL Total	Team	Open Div	Age Div	Misc Div
高橋 長治	1961	M	80.9	83	150	150.0	新日鉄住金君津BB同好会		M-83-M2-4	
山根 淳	1965	M	79.44	83	145	145.0	個人		M-83-M2-5	
山本 浩由	1960	M	80.14	83	145	145.0	K'sGYM		M-83-M2-6	
宇津木 啓	1996	M	81.84	83	145	145.0	関東学連・東洋大学		M-83-JR-1	
尾島 裕	1973	M	82.16	83	145	145.0	個人		M-83-M1-5	
西條 準	1963	M	79.38	83	140	140.0	個人		M-83-M2-7	
福島 栄治	1972	M	79.96	83	140	140.0	神奈川県警PL部		M-83-M1-6	
大谷 進	1952	M	82.32	83	140	140.0	パワーハウス		M-83-M3-1	
油井 弘光	1964	M	77.48	83	135	135.0	クラブポイズン		M-83-M2-8	
田邊 伸二	1963	M	81.78	83	135	135.0	マッスルプロダクション		M-83-M2-9	
根立 エリキ	1987	M	82.44	83	132.5	132.5	TXP	M-83-O-11		
上月 敦雄	1961	M	79.44	83	130	130.0	TXP		M-83-M2-10	
安念 大貴	1992	M	81.7	83	130	130.0	西部組	M-83-O-12		
藤岡 靖和	1976	M	82.34	83	130	130.0	ストロングライン	M-83-O-13	M-83-M1-7	
植田 健	1995	M	82.78	83	130	130.0	帝京平成スポーツアカデミー		M-83-JR-2	
石川 良平	1972	M	82.84	83	130	130.0	MBCパワー		M-83-M1-8	
唐澤 仁	1972	M	81.22	83	122.5	122.5	サンブレイフィットネスセンター		M-83-M1-9	
植田 篤	1975	M	81.6	83	122.5	122.5	ノーリミッツ		M-83-M1-10	
南正覚 雅士	1956	M	77.56	83	120	120.0	トレーニングジムフリーウエイト		M-83-M3-2	
飯田 康士	1943	M	81.82	83	120	120.0	マッスルプロダクション		M-83-M4-1	
山田 洋平	1978	M	82.28	83	120	120.0	スパインハウス	M-83-O-14		
酒井 知隆	1957	M	81.8	83	110	110.0	ノーリミッツ		M-83-M2-11	
飯川 雄三	1967	M	81.82	83	110	110.0	湘南ベンチプレスサーズ		M-83-M1-11	
増山 雄一	1972	M	81.88	83	0	0.0	個人		M-83-M1--	
西野 渉	1971	M	82.06	83	0	0.0	K'sGYM		M-83-M1--	
長谷川 直輝	1992	M	92.52	93	207.5	207.5	K'sGYM横浜	M-93-O-1		
高取 征爾	1975	M	92.52	93	202.5	202.5	ゴールドジム名古屋金山	M-93-O-2	M-93-M1-1	
武田 宗久	1978	M	92.18	93	185	185.0	個人	M-93-O-3		
須永 裕介	1976	M	91.12	93	182.5	182.5	個人	M-93-O-4		
風張 透	1988	M	92.42	93	182.5	182.5	ノーリミッツ	M-93-O-5		
和田 駿	1991	M	90.92	93	177.5	177.5	個人	M-93-O-6		
中澤 禎郁	1966	M	92.12	93	175	175.0	K'sGYM	M-93-O-7	M-93-M2-1	
渡邊 勝也	1973	M	92.26	93	175	175.0	TXP	M-93-O-8	M-93-M1-2	

2016/11/27	第17回 ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会							クラシックベンチ Bench		
Name	Age	M F	BWt (Kg)	WtCls (Kg)	Best Bench	PL Total	Team	Open Div	Age Div	Misc Div
松沼 光紀	1971	M	92.4	93	175	175.0	TXP		M-93-M1-3	
新屋敷 弘明	1966	M	86.62	93	170	170.0	パワーハウス		M-93-M2-2	
渡部 隆俊	1967	M	85.98	93	162.5	162.5	個人		M-93-M1-4	
村中 悟	1964	M	91.84	93	160	160.0	高岡TC		M-93-M2-3	
佐野 修	1963	M	90.5	93	157.5	157.5	個人		M-93-M2-4	
池澤 孝泰	1970	M	91.38	93	155	155.0	TXP	M-93-O-9		
高木 啓樹	1981	M	92.44	93	155	155.0	ストロングライン	M-93-O-10		
久保 匡平	1987	M	92.54	93	155	155.0	パワーハウス	M-93-O-11		
安楽 友宏	1956	M	86.02	93	152.5	152.5	個人		M-93-M3-1	
大黒 幸彦	1960	M	90.06	93	150	150.0	個人	M-93-O-12	M-93-M2-5	
瀧本 高博	1996	M	90.32	93	150	150.0	B.A.D		M-93-JR-1	
井上 正雄	1969	M	91.98	93	150	150.0	パワエリジム	M-93-O-13	M-93-M1-5	
奈須 俊彦	1980	M	92.3	93	145	145.0	矢野パワージム	M-93-O-14		
高橋 和幸	1970	M	83.74	93	140	140.0	神奈川県警PL部		M-93-M1-6	
宮 元気	1994	M	90.42	93	135	135.0	個人		M-93-JR-2	
村岡 勇太郎	1992	M	90.06	93	132.5	132.5	TXP	M-93-O-15		
早川 剛史	1970	M	91.18	93	130	130.0	個人		M-93-M1-7	
飯田 浩充	1967	M	91.96	93	127.5	127.5	マッスルプロダクション		M-93-M1-8	
立野 正勝	1941	M	84.88	93	120	120.0	Team Ponze		M-93-M4-1	
杉崎 幹男	1948	M	89.82	93	120	120.0	旭スポーツセンター		M-93-M3-2	
花田 隆	1953	M	87.38	93	85	85.0	マッスルプロダクション		M-93-M3-3	
飯島 修	1954	M	86.08	93	0	0.0	パワーハウス		M-93-M3--	
武田 裕介	1985	M	103.52	105	220	220.0	TXP	M-105-O-1		
伊藤 智	1966	M	104.36	105	205	205.0	K'sGYM	M-105-O-2	M-105-M2-1	
阿久津 貴史	1982	M	100.76	105	185	185.0	TXP	M-105-O-3		
浜田 誠司	1972	M	104.38	105	185	185.0	個人	M-105-O-4	M-105-M1-1	
渡邊 薫	1967	M	100.02	105	175	175.0	スーパーパワーアサマTC		M-105-M1-2	
三宅 綾	1970	M	96.88	105	170	170.0	個人	M-105-O-5	M-105-M1-3	
小野 和久	1962	M	101.64	105	170	170.0	個人	M-105-O-6	M-105-M2-2	
坂本 寛明	1996	M	102.9	105	170	170.0	TXP		M-105-JR-1	
吉田 啓英	1973	M	93.35	105	165	165.0	帝京平成スポーツアカデミー		M-105-M1-4	
大矢 浩貴	1993	M	93.2	105	160	160.0	昭和SC		M-105-JR-2	
安孫子 孝治	1978	M	97.66	105	157.5	157.5	仙台市体育館PC	M-105-O-7		

2016/11/27		第17回 ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会						クラシックベンチ Bench		
Name	Age	M F	BWt (Kg)	WtCls (Kg)	Best Bench	PL Total	Team	Open Div	Age Div	Misc Div
吉松 武志	1968	M	101.66	105	150	150.0	個人		M-105-M1-5	
西田 昇一郎	1976	M	103.28	105	147.5	147.5	新日鉄住金君津BB同好会		M-105-M1-6	
高橋 勉	1955	M	97.8	105	145	145.0	ゴールドジム名古屋金山		M-105-M3-1	
波野 利五郎	1996	M	98.82	105	145	145.0	帝京平成スポーツアカデミー		M-105-JR-3	
北原 政和	1973	M	95	105	142.5	142.5	個人		M-105-M1-7	
香西 和義	1956	M	99.95	105	137.5	137.5	エイブルスポーツクラブ岡山		M-105-M3-2	
中川 毅	1976	M	101	105	137.5	137.5	元気クラブ		M-105-M1-8	
小野 実	1974	M	95.36	105	130	130.0	栄スポーツセンター		M-105-M1-9	
長島 義孝	1944	M	97.2	105	125	125.0	個人		M-105-M4-1	
小原 一将	1991	M	103.66	105	0	0.0	マッスルプロダクション	M-105-O--		
高山 洋之	1985	M	114.9	120	217.5	217.5	神奈川県警PL部	M-120-O-1		
湯浅 正信	1962	M	112.65	120	215	215.0	個人	M-120-O-2	M-120-M2-1	
日垣 宏章	1981	M	119.35	120	200	200.0	ノーリミッツ	M-120-O-3		
川野 智成	1980	M	115.85	120	170	170.0	パワーハウス山口	M-120-O-4		
石井 孝敏	1973	M	176.75	UNL	230.5	230.5	たいそうべやSC	M-UNL-O-1		
永田 聡	1972	M	134.5	UNL	225	225.0	個人	M-UNL-O-2		
宮本 覚道	1978	M	122.4	UNL	202.5	202.5	あかつき幼稚園	M-UNL-O-3		
加瀬 智	1991	M	129.25	UNL	182.5	182.5	K'sGYM横浜	M-UNL-O-4		
氏家 一郎	1957	M	137.05	UNL	155	155.0	神奈川県警PL部		M-UNL-M2-1	
内藤 智也	1973	M	125.55	UNL	145	145.0	神奈川県警PL部		M-UNL-M1-1	
海老田 旭	1979	M	132	UNL	125	125.0	TXP	M-UNL-O-5		
福嶋 康人	1965	M	140.15	UNL	65	65.0	パワーハウス山口		M-UNL-M2-2	
岡本 敬弘	1969	M			0	0.0	B.A.D		M--M1--	
					0	0.0				